

令和3年度地域訓練協議会(第1回実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について		離職者訓練につきまして、ポリテク長野・松本ともに充足率・就職率ともに高く成果が上がっていると思う。引き続き、周知等をお願いしたい。企業から即戦力として期待している旨の声が挙がっている。 工科短大について、学校また学科により定員充足率にバラツキが見られるところ。ご努力で改善されているわけだが、地域企業の期待も大きいことから、高校への周知・的確な情報発信など、入学者が定員を上回るよう一層の工夫をお願いしたい。 ハロートレーニング等の周知・広報について多様な周知・広報であることを評価。商工会連合会でも協力したい。商工会連合会のホームページでも掲載可能なのでお申し付けいただきたく。 ハロートレーニングの周知・広報に関して、県内全自治体宛てに広報紙への掲載を依頼した結果、14自治体での掲載となっているが、今後増える見通しなのか、これで打ち止めなのか。打ち止めとすれば、かなり少ないと考える。		
2 地域特性を踏まえた訓練設定について		「令和4年度職業訓練実施計画」 ①現場サイドでのニーズ把握はどのようにしているのか。 ②機構本部からの指示又は目安が示される気がするが、現場サイドで把握しているニーズとの調整はどのようになされるのか。		
3 人材不足分野について		求職者支援訓練の中、ニーズの高いIT(デジタル)系、介護系の修了者数と就職率を高める取組を推進していただきたい。 実践コースの内、介護福祉分野、情報分野、医療事務分野は社会ニーズが高いと思われるが人員が少ないのはなぜか。		
4 受講者属性等を踏まえた訓練設定について		「令和3年度求職者支援訓練実施状況(訓練コースの認定)」 基礎コースは通期だと計画に近い人員になりそうであるが、若年者対象は第3四半期までゼロ。どういう状況なのかお教えいただきたい。		

令和3年度地域訓練協議会(第1回実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
		オンライン訓練は、認定コース(予定)と開講の乖離はなぜか。近々に開講になるのか。時流に乗ったものであると思うが。		
6 総論的意見について		求職者支援訓練について、特に情報分野、介護福祉分野からの期待が大きいと思うが、受講者数はどうか。 また、受講者が少ないとすると要因と対策をお聞きたい。 求職者支援訓練受講状況について、定員充足率が全国の中で低位である。これについての受け止めを確認したい。 受講者数が少ないというよりは、人口比での定員数が多いと捉えている。 「定員充足率」が他都道府県や全国平均と比較し低く、また半分を切っているが、どのようなことが原因か。受講者が半分未満では、費用対効果の観点から残念な点でもあることから、来年度以降「定員充足率」向上に向け、どのようなことが考えられるか。 委託訓練において、情報系・福祉介護系の応募者数に比較して入校者・修了就職者数が大きく減少する要因は何か。どのような対策が可能か。 障がい者等に対する公共職業訓練の対象者数を令和4年度計画に向け、対象者数及び就職率目標を増やすことは大変よいことだと思う。ちなみに、就職率目標を56.8%とされた根拠をご教授願いたい。		
7 その他 (上記1～6以外の意見)		生産性向上支援訓練ではお世話になっている。多くの皆さんの期待に応えられるよう、実施方法など工夫したいと思う。 求職者支援訓練の就職状況について、人材の欲しいIT、介護福祉の就職率が従前に比較して下がっている要因は何があるか。改善策はあるか。		

令和3年度地域訓練協議会(第1回実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
		工科短期大学校の就職率が97.3%、技術専門校の就職率が92.2%といずれも高いことを評価。 ①「1専門課程」 工科短大の修了者3名の未就職者の具体的状況は何か。家業等か。 ②「短期課程」 入校者数の絶対数が少ないので分析は困難かと思うが。4月入校者の就職率が前年度より大幅に増えている要因は何か。また、9月入校者の就職率の岡谷、佐久が大幅に増えている要因は何か。		